

歴史文化保存展示施設と世界こども美術館創作活動館との 在り方について

作成：令和 2 年 10 月 8 日

歴史文化保存展示施設専門検討委員会では、「歴史文化保存展示施設」と「世界こども美術館創作活動館」の 2 つの機能を合わせ持つ複合施設について、整備計画を策定するにあたり、下記の基本的な事項に関して、今後、繰り返し検討を進める。

1 現在の各施設に対する考え方について

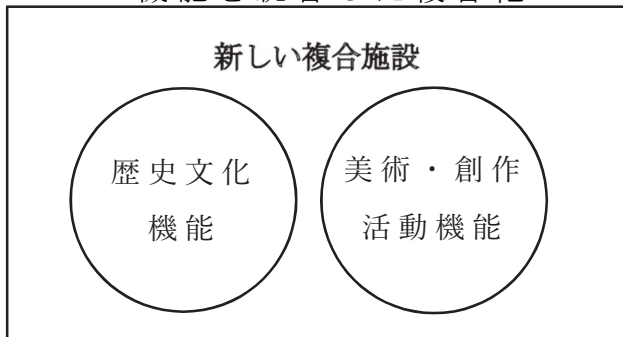
事項	歴史文化保存展示施設	世界こども美術館創作活動館
目的	<p>ア歴史文化の保存・継承の拠点 イふるさと教育の拠点 ウ市民や観光客の交流拠点</p>	<p>ア子どもの創造力の育成 イ子どもと高齢者との交流 ウ国内外との交流</p>
活動	<p>ア浜田の歴史文化の保存と継承 資料を収集、整理し、適切な環境で保存することにより、次世代へ継承する。 また、保存した資料や調査研究の成果を展示し、子どもたちや市民が浜田の歴史文化を理解できるようにする。 イふるさと郷育への活用 学校教育との連携や生涯学習の場として活用し、ふるさとに対する誇りや愛着を育む ウ市民や観光客との交流 市民同士の研究発表や市内外の来館者が交流できるようなイベントを開催する。 また、観光客への情報発信により周遊観光へとつなげる。</p>	<p>幼い頃から美術にふれあうことで創造力と感性を養う。 ア美術鑑賞（みること） 展覧会事業では、体験型の現代美術や地域の芸術を紹介するとともに世界の子どもたちの作品と向き合えるように参加性のある様々な仕掛けを取り入れる等を行う。 イ創作活動（つくること） 創作活動事業では、小学校の子どもたちを対象とした「ミュージアムスクール」や週末には身近な素材を使った自由参加の「ホリデー創作活動」等を行う。</p>

事業	<p>(浜田郷土資料館の場合)</p> <p>ア郷土の歴史、民俗、考古等に関する資料(以下「資料」という。)の収集、保存及び展示に関すること。</p> <p>イ資料の調査、研究及び教育普及活動に関すること。</p> <p>ウその他必要な事項に関すること。</p>	<p>ア美術品及びその他美術に関する各種資料の収集、保管並びに展示すること。</p> <p>イ美術に関する調査研究及び教育普及活動を行うこと。</p> <p>ウ創作活動の支援及び造形実技に関する講座等を企画並びに運営すること。</p> <p>エ美術に関する展覧会、講演会、研究会、映写会等を開催すること。</p> <p>オその他必要な事業</p>
----	---	---

2 複合施設としての在り方について

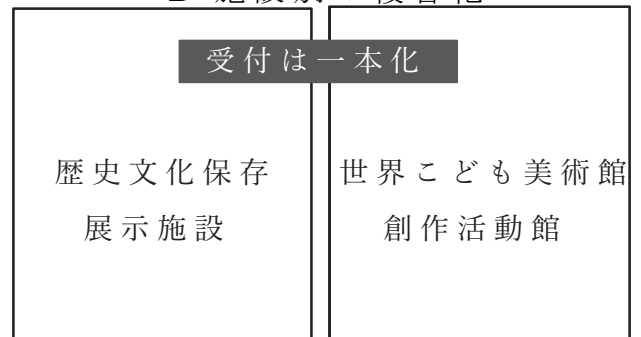
新しい複合施設の形態について、2つの考え方を例示し、今後の検討課題とする。

A 機能を統合した複合化



メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・施設として一体感が強い。 ・理念、方針、事業が統一的となる。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・施設(機能)が並列となり独自性が弱い。 ・世界こども美術館の名称が難しい。

B 施設別の複合化



メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設の独自性が発揮できる。 ・個別の施設名称や複合施設の総称が付けられる。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・複合施設としての一体感が弱い。 ・施設の理念、方針事業が別となる。

3 複合施設の考え方について

複合施設の考え方については、機能を統合した複合化でも施設別の複合化でも基本的に同じものとして検討する。

※下記の内容は例として示したのであり、今後の検討課題である。

(1) 複合施設としての基本理念

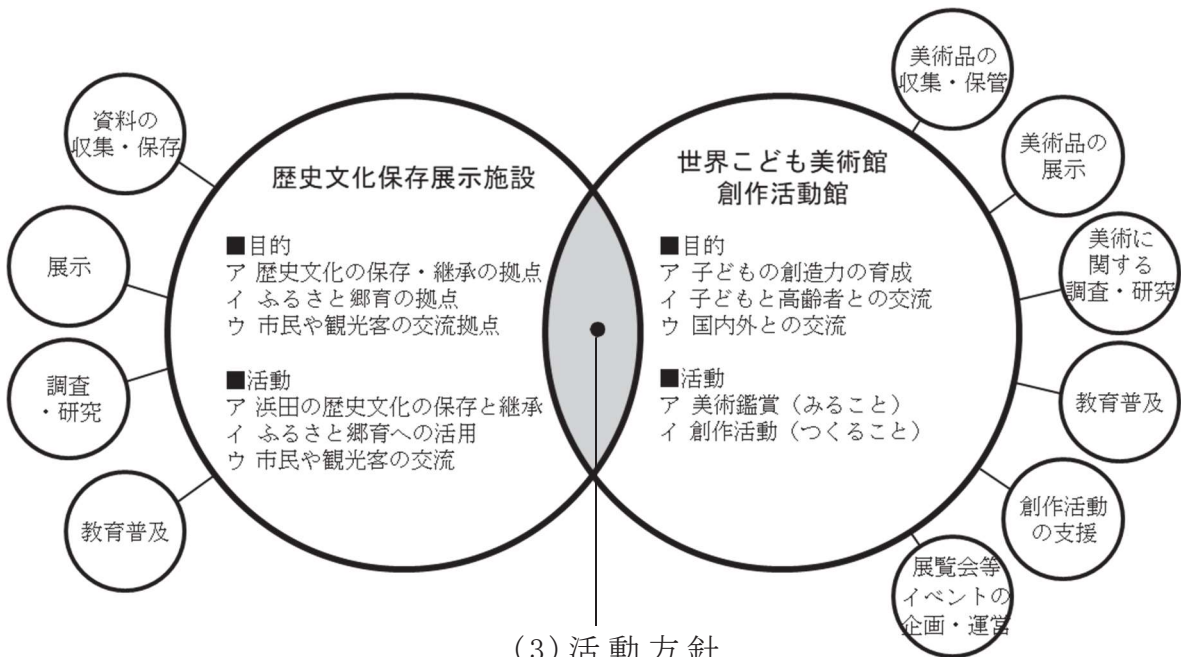
ふるさと浜田の魅力探求と未来への創造力を育む

(2) 使命（目的）

- ・ ふるさとの歴史文化 美術を未来につなぐ
- ・ ふるさとへの愛着と誇りを育む
- ・ 世界やふるさとから創造性や感性を育む
- ・ 子どもたちと各世代との交流
- ・ 世界的な視点と交流から国際性を育む

■ 歴史文化保存展示施設又は機能

■ 世界子ども美術館創作活動館又は機能



(3) 活動方針

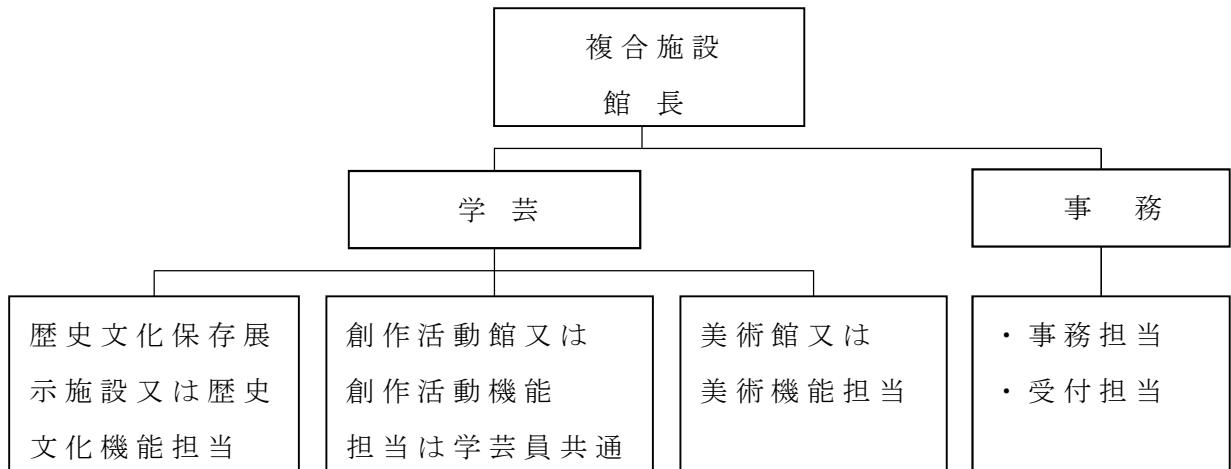
- ・ 子どもたちが分かりやすく、興味や好奇心を呼び起こす活動
- ・ 親子や各世代と楽しく学ぶ活動
- ・ 学校教育との連携により教育効果を高める活動
- ・ 世界的な視点と交流から国際性を育む活動

(4) 事業

ア	イ	ウ	エ
各種資料の収集、保管並びに展示	調査研究及び教育普及活動	創作活動の企画、運営	その他必要な事業

4 組織体制の素案について

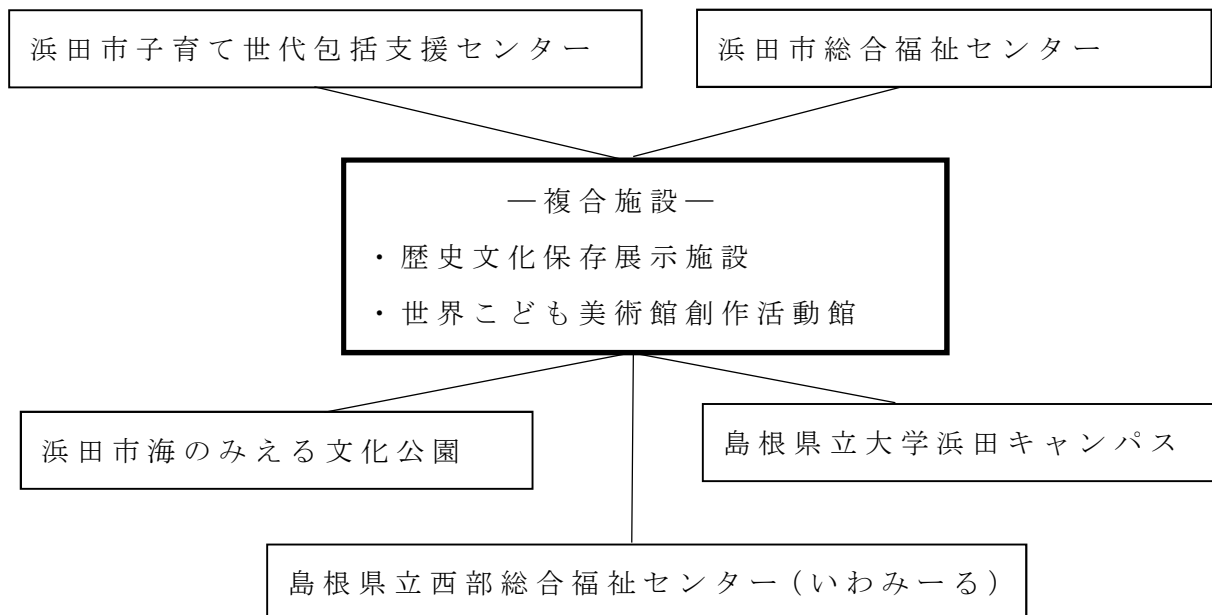
組織体制は、機能を統合した複合化でも施設別の複合化でも同じ組織体制とし、効率的で経費を圧縮できるように検討する。



歴史文化保存展示施設の職員数（整備方針による）	学芸 1 人 嘱託 1 人 臨時 1 人 合計 3 人 （館長は兼務）
現在の世界こども美術館創作活動館の職員数	館長 1 人 総務 3 人 学芸 4 人 合計 8 人

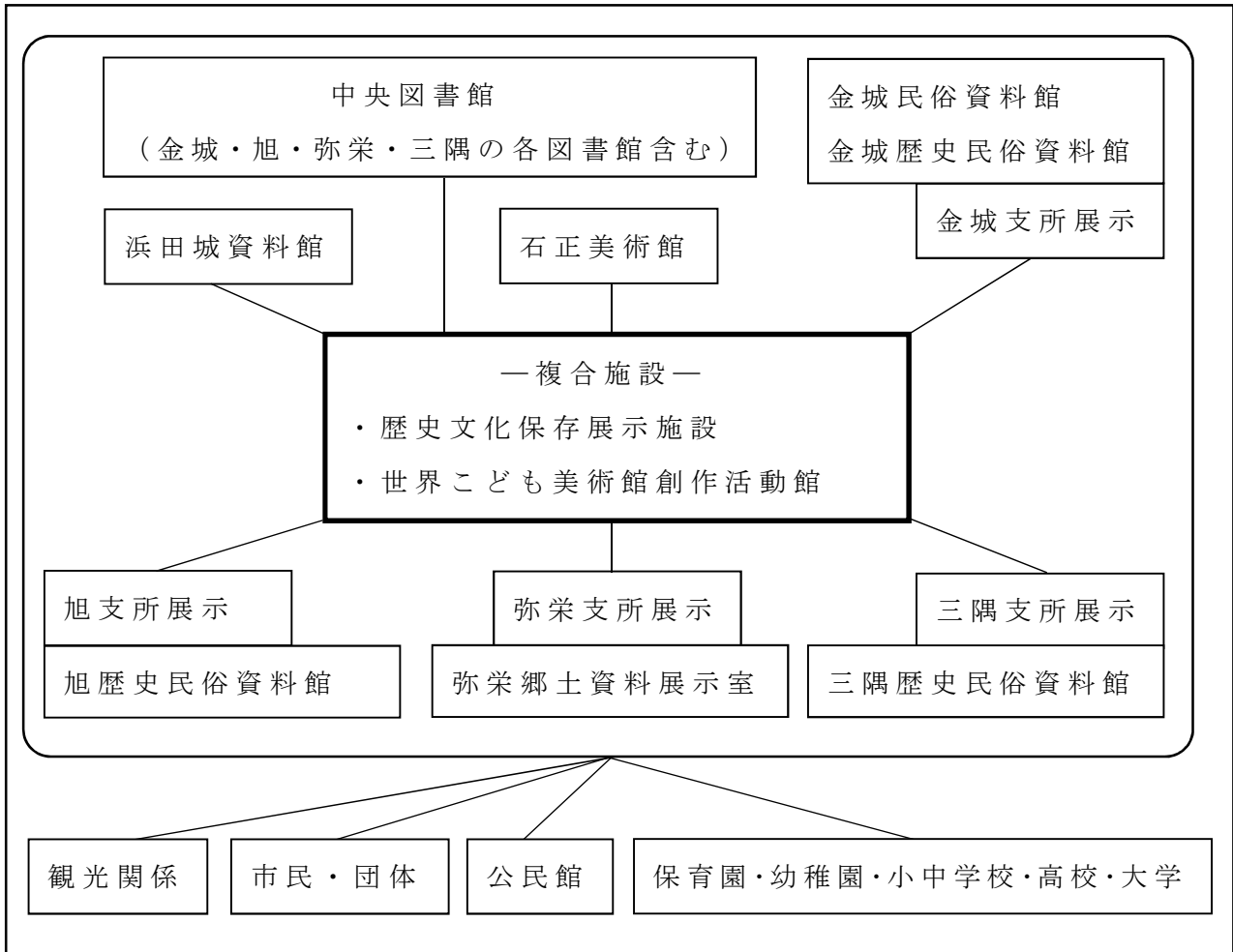
5 周辺環境について

周辺施設との連携としては、幼児、青年、高齢者などの各世代が集まる施設があり、連携を図りやすい環境にある。



6 地域環境について

地域にある施設との連携では、資料館や美術館、図書館を核にし
ながら、学校をはじめ、公民館や観光関係との連携を図る。



7 世界こども美術館創作活動館の建物等について

現在の建物は、「海に浮かぶ船 日本海に漂う創造と美の船」をイメージとしたものである。

歴史文化保存展示施設の展示室や機械室等の増設（520 m²）を行うにあたり、下記の点に配慮する。

- (1) 既存建物との調和が図られるもの
- (2) 3階多目的ホールから日本海の展望が確保できるもの

また、今後の展示、活用の検討にあたっては、既存建物や増設部分についても考慮しながら進める。